

(別紙様式)

(令和3年3月31日現在)

派遣先	日本人学校 補習授業校	派遣 職名	個人 番号	① 推薦 職種※	校長・教頭・教諭						
推薦者番号	令和3・4年度			② 経緯等※	希望する・希望しない						
□□-□□-□□□□		在外教育施設派遣教師選考調査票			③ 派遣 希望※						
証明写真※ (4cm × 4cm) 正面上半身 ・6ヶ月以内に撮影のもの ・画像ファイルを貼り付けること	3 フリガナ 氏名※	4 所属機関※		教育委員会 大学							
	5 生年月日※	昭和 平成	年 月 日 (満 歳)	6 性別※	男・女 国籍※						
	7 フリガナ 現住所※	都 道 府 県		(電話 - -) (携帯 - -) (E-mail)							
8 フリガナ 所属学校名※	都 道 府 県	市 町 立 村 区	職名※	()主任・主事							
9 最終学歴※	昭和 平成	年 月	大学 大学院	学部	学科 課程 (専攻) 卒 学歴 区分※ 院卒 短大卒 大卒 その他						
10 教職歴※	通 算 経験年数	教諭等経験 ①+②+③	年	小学校経験 ①	年	中学校経験 ②	年	その他() ③	年		
		常勤講師経験	年	在外教師経験 文科派遣 民間企業経験	年	在外教育施設名	(S・H 年 月～S・H・R 年 月) (S・H 年 月～S・H・R 年 月)				
11 所有免許状等 ※	ア 免許 状種 別	(小)専・1・2 (中)専・1・2 (高)専・1 養教・幼 (特支)専・1・2	イ 免許 教科	(中) 国・社・数・理・音・美・保体・技・家・職・外()・() (高) 国・地歴・公・数・理・音・美・工芸・書・保体・保・家・工・外()・() ウ 領域 視・聴・知・肢・病				工 司書教諭 資格※	有・無		
12 過去5年間の 授業担当教科 ※	小学校 (小学部) 中学校 (中学部)	全教科・国・社・算・理・生・音・図工・体・家 国・社・数・理・音・美・保体・技・家・外()						13 複式授業 担当経験※	有・無		
14 教えたこと のある教科 ※	小学校 (小学部) 中学校 (中学部)	全教科・国・社・算・理・生・音・図工・体・家 国・社・数・理・音・美・保体・技・家・外()									
15 指導経験はない が教える自信の ある教科 ※	小学校 (小学部) 中学校 (中学部)	全教科・国・社・算・理・生・音・図工・体・家 国・社・数・理・音・美・保体・技・家・外()						取得見込免許教科()	取得予定： 令和 年 月		
16 担任等の経験 ※	担任経験のある学年 小学校 1・2・3・4・5・6 中学校 1・2・3		最も直前に担任をした年度及び学年 昭・平・令 年 小・中 年		最も直前に学年主任をした年度及び学年 昭・平・令 年 小・中 年						
17 外国語及び クラブ(部)活動 指導等 ※	区 分	ア. 外国語能力			イ. クラブ(部)活動等の指導力			ウ. その他			
		英語 ()語	読解	会話	読解	会話	武道 球技	音楽	進路 指導	パソコンでの 学習指導	インターネット 等の活用
		読解	会話	読解	会話	(柔・剣)	()	水泳	音楽 (器楽合奏 の2人)	合唱	和太鼓
A 自信がある											
B なんとかできる											
C 自信がない											
18 自動車運転免許 ※	本人		有・無		配偶者		有・無				
19 特 技 (資 格)	語学に関する資格()		20 趣 味								
21 健康状態 ※	既往症 ※		無・有		(病名)						
23 家族 状況 ※	続柄	フリガ ナ 氏 名	生 年 月 日 (年 齢)	職 業 (勤務先等)	同居・別居 の別 ※	同伴の 有・無 ※	国籍	健康状態・既往症・ケアを要 する事柄(特別支援等)			
			大昭平令 (満 歳)	()	同・別	有・無					
			大昭平令 (満 歳)	()	同・別	有・無					
			大昭平令 (満 歳)	()	同・別	有・無					
			大昭平令 (満 歳)	()	同・別	有・無					
24 配偶者の所有 教員免許状	25 配偶者の 教職経験		有 小 無 中		年 年 計 年 年						

選考調査票（提出書類①）記入上の注意

1. 選考調査票は、選考に際しての基本的資料となるので、必須項目（※）は全て記入すること。
2. 虚偽記載や記入漏れがあった場合、遡って委嘱を解くことがあるので、正確に記入すること。
3. A 4 両面印刷で1部提出すること。併せて、電子ファイルでも提出すること。

【表面について】

- 欄 1. 推薦者番号を都道府県教育委員会等が記入すること。
- 欄 2. ①「推薦職種」②「姉妹都市」③「派遣希望年度」は、教師本人ではなく、都道府県教育委員会等が推薦する職種、希望する派遣年度を記入すること。③「派遣希望年度」には、令和3年度即派遣でも令和4年度登録派遣でもどちらでもよい場合「ア」を、令和3年度即派遣のみ希望の場合「イ」を、令和4年度登録派遣のみ希望の場合「ウ」を○で囲むこと。なお、○が入力されていない場合には、「ア」とみなして選考する。
- 欄 3. ・氏名の漢字は正式な表記で記入すること。・必ず「フリガナ」を付すこと。
- 欄 4. 「所属機関」には、都道府県・指定都市教育委員会名、所属大学名又は学校法人名を記入すること。
- 欄 5. 年齢は、令和3年3月31日現在の満年齢を記入すること。
- 欄 7. ・現住所には必ず「フリガナ」を付すこと。
・電話番号は市外局番から記入すること。
・E-mail は教師本人の個人アドレスを記入すること。
- 欄 8. ・所属学校名には必ず「フリガナ」を付すこと。
・電話番号は市外局番から記入すること。
・職名欄には、校長・副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭等の職名を記入し、（ ）には教務主任等の担当を記入すること。
- 欄 10. ・「通算経験年数」について、「教諭等経験」は、正式採用されてからの小学校、中学校、その他経験年数の合計を令和3年3月31日現在で記入すること（常勤講師、非常勤講師は除く）。なお、在外教育施設での経験も含む。「常勤講師経験」には、臨時的採用（常勤講師に限る、非常勤講師等の年数は除く）の年数を記入すること。なお、民間企業の勤務経験がある者は、その年数を「民間企業経験」に記入すること。
・在外教師経験は、文科派遣（派遣教師）・学校採用（又は現地採用）の種別を○で囲み、詳細を記入すること。なお、経験のある在外教育施設が3回以上の場合には、「備考」欄に記載すること。
・「その他」には、行政機関、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、在外教育施設等の経験を記入すること。
・年度途中での採用など年数のみで記載することが出来ない場合は、小数点を用いて記載すること。
- 欄 11. ・「所属免許状等」の「免許状の種類」については、小学校教諭1種免許状、中学校教諭2種免許状…は「(小)・1」「(中)・2」……、「免許教科」については、「国語」「数学」……は「国」「数」……の記号でそれぞれ略記している。なお、高等学校教諭免許状「社会」を所有している場合は、地歴、公の両方を○で囲むこと。「免許教科」欄に該当がない場合は、（ ）内に当該所有免許教科名を記入すること。
・特別支援学校の免許状改正により更新した者は、「免許状の種類」の「特支」の該当を○で囲むとともに、「ウ」領域のいずれかを○で囲むこと。
・エ「司書教諭資格」を有する者とは、学校図書館法第5条第1項各号に該当する者をいう。
- 欄 12. 「過去5年間の授業担当教科」は、令和3年3月31日から起算した過去5年間に実際に担当したことのある教科を○で囲むこと。なお、在外教育施設での経験も含む。
- 欄 13. 複式授業の担当経験の有無について、○で囲むこと。なお、在外教育施設での経験も含む。
- 欄 14. 「教えたことのある教科」は、過去に教えたことのある教科について○で囲むこと。なお、在外教育

校の所在する国または地域名を記入すること。

- 欄 34. 「過去の受験回数」は、今回の受験を除き、文部科学省、都道府県・指定都市教育委員会それぞれについて該当する回数を○で囲むこと。
- 欄 35. 日本人学校又は補習授業校のいずれかを○で囲んだ上で、その理由について記入すること。特に該当しない場合は記入不用。
- 欄 38. 記入者本人が、虚偽や欠落のないことを確認し捺印すること（電子ファイルには捺印不要）。
- 欄 39. 所属機関の長（校長等）が、記載事項について相違ないことを確認し証明すること。なお、公立学校における校長候補者の場合は、所属市町村教育長が証明すること。